

水と緑が輝き、 歴史と文化の薫る 風格あるまちを目指して



※平成20年岡崎市景観資産調査

岡崎市は、愛知県の中央部、三河高原と西三河平野との接触地、三河高原の西端に位置しています。標高差が約700m（最高地点：本宮山789.2m）あるなど地形の変化に富み、矢作川が北から南へ、本宮山に源を発する乙川が東から西に縦断し、市の中心部で合流するなど水源豊かで緑に包まれた風光明媚な地です。

この地は、古くから人々の生活の舞台となり、矢作川流域最古とされる白鳳時代の寺院跡、徳川家康生誕の岡崎城があるほか、江戸時代の城下町、東海道五十三次の宿場町、矢作川の舟運や三州中馬の中継地として栄え、豊かな水と緑を風景の基盤に、これらの歴史や武家文化などを今に伝える景観資産を数多く有しています。



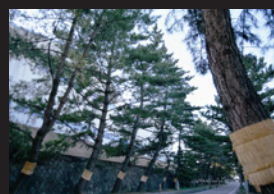
①村積山



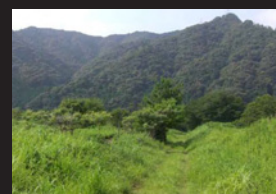
⑥伊賀八幡宮



⑪二十七曲り



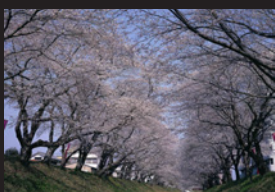
⑬藤川の松並木



⑱原山



②真福寺



⑦伊賀川の桜

多彩な景観資産が
織り成す岡崎らしい風景



⑭法蔵寺



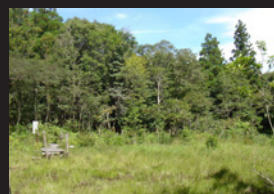
⑲万足平の猪垣



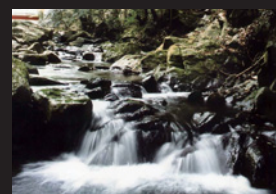
③滝山寺



⑧眺望ライン (ビスタライン)



⑮北山湿地



⑳くらがり渓谷



④北野廃寺跡



⑨八丁蔵並



⑯おおだの森



㉑日近の里



⑤大樹寺



⑩岡崎城



⑫六所神社



⑬天恩寺



㉒茅葺屋敷